

# 第2期岐阜県森林づくり基本計画

## 5カ年の総括評価



平成29年10月

岐阜県

# 清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

**知**

清流がもたらした  
自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

**創**

ふるさとの宝ものを磨き活かし、  
新たな創造と発信に努めます

**伝**

清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

<表紙の写真>

左上:木の駅プロジェクト(関市)、 左下:欧州製タワーヤーダを活用した研修(郡上市)

中上:水源を育む森林(高山市)、中央:第39回全国育樹祭式典行事(揖斐川町)、中下:ぎふ木育キャラバン(岐阜市)

右上:「環境保全モデル林」における森林整備活動(除伐)(土岐市)、右下:県産材を使用した住宅モデルハウス(名古屋市)

## 目 次

### I はじめに

はじめに	・・・	1
5カ年の総括評価	・・・	2

### II 総合的・重点的に取り組んだ5つのプロジェクトの実施状況

1. 「恵みの森林づくり」関連プロジェクト		
(1) 恵みの森づくりプロジェクト	・・・	3
(2) 水源林保全プロジェクト	・・・	4
(3) 木質バイオマスエネルギーへの転換プロジェクト	・・・	5
2. 「生きた森林づくり」関連プロジェクト		
(1) 森林経営合理化プロジェクト	・・・	6
(2) 優良県産材供給倍増プロジェクト	・・・	7
(年表) 岐阜県における森林・林業施策の実績	・・・	8

### III 主な施策の実施状況

1. 生きた森林づくり	・・・	10
2. 恵みの森林づくり	・・・	12
3. 共通（基盤整備）	・・・	14
(年表) 岐阜県における森林・林業施策の実績	・・・	15
4. 基本方針ごとの目標に対する実績	・・・	18

IV 資料編 岐阜県の森林・林業を取り巻く現状	・・・	21
-------------------------	-----	----

## I はじめに

- 本県では、平成 18 年に「岐阜県森林づくり基本条例」（以下「基本条例」という。）を制定し、天皇・皇后両陛下をお迎えして下呂市で開催した「第 57 回全国植樹祭」の開催日である、平成 18 年 5 月 21 日に施行しました。
- この基本条例に基づき、平成 19 年に「岐阜県森林づくり基本計画（H19<sup>※</sup>～23）」（以下「基本計画」という。）を策定し、林業経営を重視した「生きた森林づくり」に取り組みました。

具体的には、林業（木材生産）の低コスト化、木材の流通加工体制の強化、県産材の需要の拡大などにより、「植えて、育てる」そして「伐って、利用する」取組みを進め、林業を産業として成り立たせることを目指してきました。
- 平成 24 年に策定した「第 2 期岐阜県森林づくり基本計画（H24～28）」（以下「第 2 期基本計画」という。）では、それまでの「生きた森林づくり」は継続した上で、「第 30 回全国豊かな海づくり大会」（H22）を契機とした環境保全重視の「恵みの森林づくり」を新たに加え、森林づくりの両輪として取組みを進めてきました。
- また、「恵みの森林づくり」を進めるための財源として、平成 24 年度から「清流の国ぎふ森林・環境税」を導入し、県民全体で森林や河川の保全・再生を支えていく新たな仕組みが始まりました。
- そして、平成 27 年 10 月 11 日に皇太子殿下をお迎えし、「手から手へ 豊かな緑で ぼくらの未来」をテーマに「第 39 回全国育樹祭」を揖斐郡揖斐川町で開催しました。
- 先代から受け継いだ森林を守り育て、活用する知恵や技術を深化させ、次の世代へ引き継ぐ取組みを県民総参加で進めた本大会は、豊かな環境・文化を育む森林をつくるため、森林の循環利用を進めるとともに、水源林や里山林など多様な森林づくりを進めていく「100 年先の森林づくり」に取り組んでいく契機となりました。
- 次期計画では、第 2 期基本計画の評価と課題を踏まえ、新たに「100 年先の森林づくり」に取り組んでいきます。

注（※）H19 は年度をあらわします。

以降、同様の表記について、特に注記がない限り、年度をあらわしています。

## 5 力年の総括評価

第2期基本計画では、「第57回全国植樹祭」(H18)を契機とした林業経営重視の「生きた森林づくり」と、「第30回全国豊かな海づくり大会」(H22)を契機とした環境保全重視の「恵みの森林づくり」の両輪で取り組んできました。また、「恵みの森林づくり」には、その財源に「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用してきました。

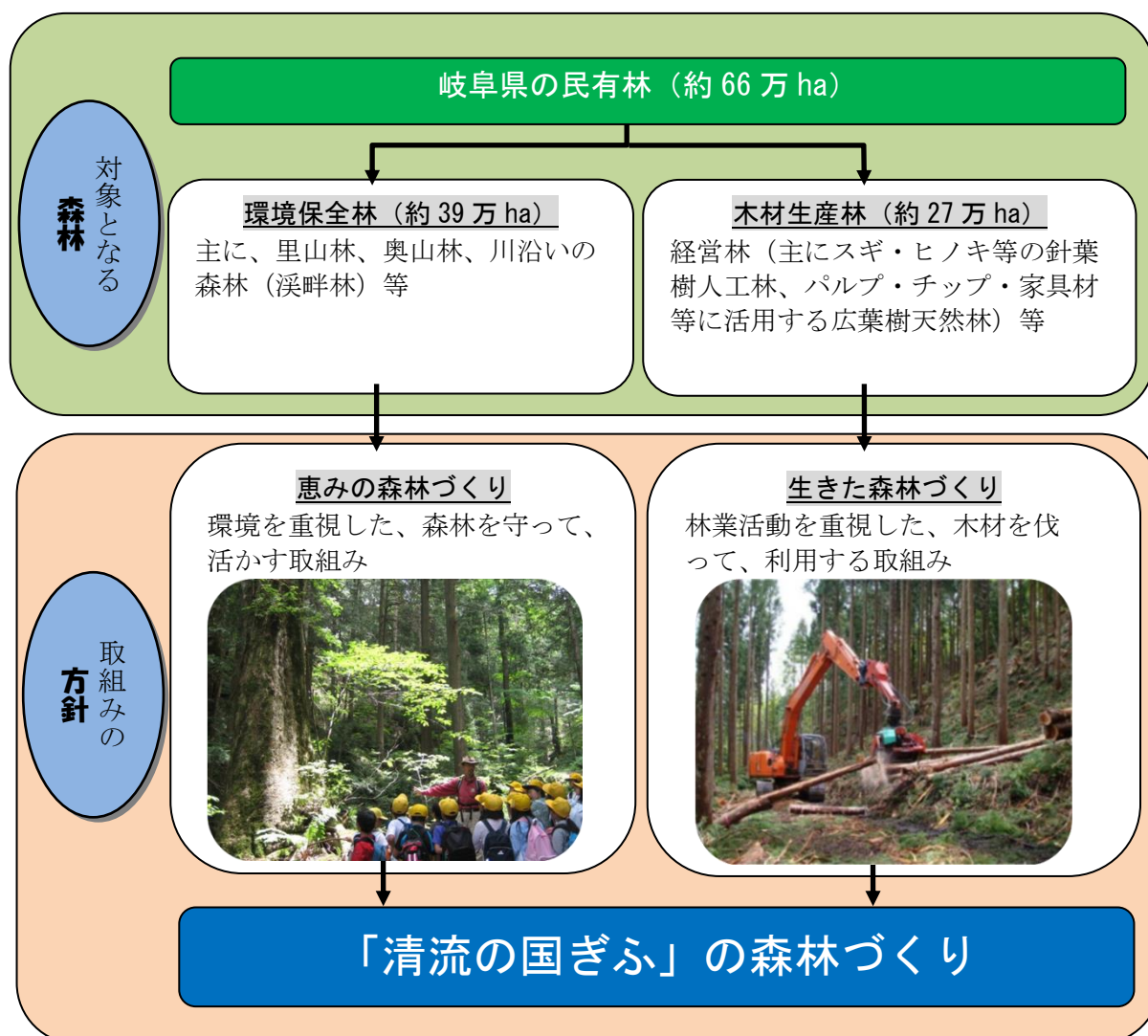
最終年度となる平成28年度は27項目の目標値のうち、16項目で目標値を上回る結果となっています。それぞれの評価と課題は以下のとおりです。

### 【生きた森林づくり】

- ・木材需要に応じた原木の生産、流通の取組みが始まりましたが、安定供給は不十分です。
- ・県産材の利用を進めるため、更なる販路の拡大が必要です。

### 【恵みの森林づくり】

- ・水源林や里山林の整備・保全が進んでいますが、まだまだニーズが高い状況です。
- ・「ぎふ木育」等環境教育が浸透し、活動も活発化していますが、全県的な広がりが見られないのが現状です。



## II 総合的・重点的に取り組んだ5つのプロジェクトの実施状況

### 1. 「恵みの森林づくり」関連プロジェクト

#### (1) 恵みの森づくりプロジェクト

里山林を中心に、「環境」を重視した新たな森林づくりを進めるため、「環境保全モデル林」の選定、活用計画の策定、整備、森林資源の利活用を通して、新たな里山林の保全・活用モデルの構築を図るプロジェクト

#### ◆目標

環境保全モデル林指定数

(単位：箇所)

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	摘要
目標		1	2	3	4	5	(累計)
実績	—	1	2	4	5	5	
達成率※	—					100%	

(※) 達成率算出方法については、P18を参照。

#### ◆5カ年の実績と評価

- 里山林を中心に、「環境」を重視した新たな森林づくりを進めるため、「環境保全モデル林」を県内に5箇所指定しました。第1号の美濃市古城山をはじめ、可児市我田の森、土岐市土岐高山城跡の森、中津川市加子母福崎の森、そして揖斐川町城台山です。
- それぞれの「環境保全モデル林」では、活用を希望する地元の住民団体（プレーヤー）、市町、「恵みの森づくりコンソーシアム」会員、学識経験者、県で構成する「環境保全モデル林整備・活用計画策定会議」が策定した「整備・活用計画」に基づき、県が整備し、オープン後はプレーヤーが中心となって、体験イベントや環境保全活動等が行われています。
- プレーヤーのみならず、県内外の団体による活動も活性化しており、地域が主体となった里山の活用について、大きな成果をあげました。
- 今後は、整備した里山をモデルとした里山保全活動を全県に波及させるため、活用状況を随時、情報発信することが必要です。



里山林整備活動（伐倒体験）



シイタケのほだ木作り

## (2) 水源林保全プロジェクト

森林の大面積伐採や乱開発による水資源の枯渇、水質悪化を防止するため、水源林の保全の強化、森林が持つ公益的機能の維持増進に取り組むプロジェクト

### ◆ 5カ年の実績と評価

- 平成 25 年 3 月、水源地域において土地の取引を行う際に事前の届出を義務付けた「岐阜県水源地域保全条例」（以下、「条例」という）を制定し、森林の大面積伐採や乱開発による水資源の枯渇、水質悪化を防止する枠組みを作りました。
- 水源の保全のため、特に適正な土地の利用を確保する必要があると認められる森林（22 市町村、258 箇所、約 52 千 ha）について、条例に基づき水源地域に指定しました。
- また、水源地域の森林整備基準を地域森林計画に規定するとともに、指定した水源地域内の森林は、市町村森林整備計画において水源涵養機能維持増進森林として位置付けるよう、市町村に要請しました。
- 水源林の保全のため、中津川市、八百津町、白川町の水源林 77ha の公有林化を支援し、市町により適正な管理が進められています。
- 水源林保全の必要性について理解を深めるためのシンポジウムや地域説明会等の開催により、水源林への理解、保全に向けた機運が高まりつつあります。
- 水源林を守るため、引き続き、条例の適切な運用と普及、市町村による水源林の公有林化に取り組み、間伐等の適切な森林整備を実施していく必要があります。



森の通信簿事業の実施



公有林化した森林（八百津町）

### (3) 木質バイオマスエネルギーへの転換プロジェクト

C・D材を有効活用するため、地域の実情に応じた搬出から加工までの効率的な利用システムを構築するとともに、広葉樹林等から伐採された薪の活用等、木質バイオマスのエネルギー利用を幅広い分野で広げるプロジェクト

#### ◆目標

木質バイオマス利用量（燃料用途）※ （単位：千 m<sup>3</sup>）

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	摘要
目標	/	14	16	18	21	24	
実績	11	12.5	15.1	9.7	90.0	121.4	
達成率	—					849%	

（※）木質バイオマス利用量（燃料用途）：原木から木質燃料として加工される利用量。製材端材、木質系廃棄物を除く。

#### ◆5カ年の実績と評価

- 平成 26 年度に瑞穂市内の木質バイオマス発電施設の整備を支援し、未利用材を中心とした年間9万tの木材の新たな需要を生み出しました。その結果、木質バイオマス利用量（燃料用途）は大幅に増加し、目標を大きく上回る実績となりました。
- 公共施設等における木質資源利用ボイラーや薪ストーブ等の導入に対し、5年間で219台の支援を行い、木質バイオマスのエネルギー利用への理解が広がりつつあります。
- 地域住民と市町が連携した県民協働による未利用材の搬出を支援し、9市町25地域に活動が広がりました。5年間で1万tを超える量が搬出されるなど、未利用材搬出の機運が高まっています。
- 今後は、増えた需要に応じた木質バイオマスを低コストで安定供給していくための体制整備、供給施設の整備支援等が必要です。
- 木質バイオマスの運搬コストを低減するため、地域内で生産された木材を地域内で消費するエネルギーの地産地消の仕組みづくりが必要です。



福祉施設に導入した薪ストーブ



木質バイオマス発電施設（瑞穂市）



## 2. 「生きた森林づくり」関連プロジェクト

### (1) 森林経営合理化プロジェクト

自立した林業を実現するため、「市町村森林整備計画」、「森林経営計画」の策定を支援するとともに、計画の策定に関わる林業普及指導員(フォレスター等)や施業プランナーといった人材を育成するプロジェクト

#### ◆目標

森林経営計画策定面積

(単位：千 ha)

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	摘要
目標		75	110	145	180	200	(累計)
実績	—	46	75	93	106	123	
達成率	—					62%	

#### ◆5カ年の実績と評価

- 「市町村森林整備計画」、「森林経営計画」が実効性のある計画となるよう策定を支援しました。市町村を対象とした研修会、事業体を対象とした個別指導や研修会等では、計画策定や実行管理についてきめ細かい指導を行いました。
- 森林経営計画の策定は、条件の良い森林から徐々に進み、施業や路網整備の計画が明確にされ、木材生産量は目標の 50 万 m<sup>3</sup> まで増加しましたが、急傾斜地や小規模、不在村所有者の森林などにおいて計画策定が進んでいません。
- 低コスト造林の研究・普及のため、モデル的な取組みを平成 26 年度から3年間で 14 提案採択しました。また、民間企業とコンテナ苗の安定供給体制整備のための協定を結び、施設整備を支援しました。
- 森林経営計画の作成・実行管理を担う施業プランナーは、育成研修の実施により、目標を上回る 133 名が養成されました。また、フォレスター(森林総合監理士)は 61 名となり、地域の森林管理及び経営について助言・指導する体制が整いつつあります。
- 木材生産量の増加を図るためには、機械化、路網整備を進め、木材生産のさらなる低コスト化が必要です。
- 架線系林業機械による集材技術を普及し、比較的傾斜が急な地域でも効率的な林業経営を可能とする体制を構築することが必要です。



「森林経営計画」の策定支援



土場での仕分け作業

## (2) 優良県産材供給倍増プロジェクト

原木の生産から木材製品の利用に至る「木材の流れ」を円滑にすることを目的として、生産加工販売体制を強化するとともに、木材流通、製品流通の分野では流通の合理化や需給のマッチング機能を強化するプロジェクト

### ◆目標

製材工場等への木材直送量

(単位：万 m<sup>3</sup>)

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	摘要
目標		18	20	22	24	26	
実績	13	21.7	22.4	22.2	25.7	26.4	
達成率	—					103%	

ぎふ性能表示材製品出荷量

(単位：千 m<sup>3</sup>)

目標		10	20	30	40	50	
実績	1	9.9	14.5	9.7	8.2	8.4	
達成率	—					15%	

### ◆5カ年の実績と評価

- A材約5～10万m<sup>3</sup>を使用する製材工場の整備を支援し、大規模な需要に応えられる生産加工体制が整いました。
- 木材流通の合理化により、山から製材工場への木材直送量は26.4万m<sup>3</sup>と着実に増加し、原木総取扱量に占める直送の割合は5割を超えています。
- ぎふの木で家づくり支援事業等による個人住宅への助成(5年間で1,491棟)、木造住宅アドバイザー養成事業(建築士等の養成：5年間で67人)、木造住宅相談員養成事業(工務店等の営業担当等の養成：5年間で134人)により、県産材利用の機運が高まっています。
- 中京圏や関東圏、韓国などに向けた県産材製品の販路拡大が進みました。
- 一方、ぎふ性能表示材製品出荷量は、一般木造住宅における性能表示に対するニーズが伸び悩んだこと等により、目標値に達しませんでした。
- 人口減少を見据え、県内だけにとどまらない国内外への販路拡大や、広葉樹材の活用も含めた新たな分野・地域に向けた商品開発、県産材を使った建築物を設計する建築士の育成等に取り組む必要があります。



大型製材工場での加工



韓国展示会への出展

岐阜県における森林・林業施策の実績（平成24年度～平成28年度）

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
恵みの森づくりプロジェクト	環境保全モデル林の選定・整備・活用 ○第1号選定（美濃市古城山） 整備・活用計画を策定	・第1号整備 森林整備、作業道、散策路、東屋、管理棟等 ○第2号選定（可児市我田の森） 整備・活用計画を策定	・第1号活用開始 山遊び体験イベント等 ・第2号整備 散策路、管理棟、バイオトイレ等 ○第3号選定（土岐高山城跡の森） 整備・活用計画を策定 ○第4号選定（加子母福崎の森） 整備・活用計画を策定	「ろうきん森の学校」活動等 ・第2号活用開始 森林整備、環境教育等 ・第3号整備 作業道、遊歩道、東屋、バイオトイレ等 ・第4号整備 管理棟、バイオトイレ、木材搬出架線、木馬道等 ○第5号選定（揖斐川町城台山） 整備・活用計画を策定	「森のようちえん」等開催 「自然学校」「里山案内講座」等 ・第3号活用開始 椎茸菌打ち体験、木工教室等 ・第4号活用開始 里山体験学習、親子木工工作等 ・第5号整備 遊歩道、展望台、管理棟等	環境保全モデル林 5箇所整備 第1号：美濃市古城山 第2号：可児市我田の森 第3号：土岐高山城跡の森 第4号：加子母福崎の森 第5号：揖斐川町城台山
水源林保全プロジェクト	「岐阜県水源地域保全条例」 ・平成25年3月制定	・平成25年10月、事前届出制度開始 ・事前届出15件	・事前届出20件	・事前届出10件	・事前届出42件	指定水源地域（H28年度末） 22市町村、258箇所、約52千ha  公有林化 77ha
森林づくり	公有林化支援事業 ・4ha（白川町）	・11ha（白川町）  普及・啓発活動 ・地域説明会（10回） ・水源地域保全シンポジウム開催（1回）	・33ha（中津川市、八百津町、白川町）	・26ha（八百津町、白川町）	・3ha（八百津町、白川町）	
く		木質バイオマス発電施設によるC・D材の活用促進 ・木質バイオマス発電施設建設着手 ・「岐阜木質バイオマス協議会」設立	・地域説明会（6回） ・水源林保全シンポジウム開催（1回）  県民協働による森の通信簿事業 ・5団体	・地域説明会（5回） ・親子の水源林教室（1回） ・女性のための森と水の写真教室（4回）  ・3団体	・地域説明会（6回） ・親子の水源林教室（5回） ・水源林保全シンポジウム開催（1回）  ・3団体	
り	木質バイオマス発電施設の導入促進 ・4市7箇所 98台 木質ペレットボイラー1台 木質ペレットストーブ97台	・5市町8地域 964ト  ・4市 5台 薪ストーブ2台 木質ペレットストーブ3台	・7市町15地域 2,282ト  ・7市町 44台 木質資源利用ボイラー2台 薪ストーブ5台 木質ペレットストーブ37台	・9市町21地域 2,971ト  ・7市町17箇所 52台 薪ボイラー1台 薪ストーブ10台 木質ペレットストーブ41台	・9市町25地域 3,323ト  ・7市町18箇所 20台 薪ストーブ10台 木質ペレットストーブ9台 木質ペレット給電供給施設1基	未利用材を中心に年間9万ト使用する木質バイオマス発電施設を瑞穂市に整備 (H26.12～本格稼働)  地域ぐるみの未利用材輸出活動 9市25地域へ拡大

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備 考
森 林 経 営 合 理 化 プ ロ ジ ェ ク ト	<p>市町村森林整備計画・森林経営計画の策定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村を对象とした研修会の開催</li> <li>森林経営計画作成支援 研修会等開催 (延べ26回)</li> </ul>	<p>市町村を对象とした研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村を对象とした研修会の開催</li> <li>森林経営計画作成支援 研修会等開催 (延べ14回)</li> </ul>	<p>市町村を对象とした研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村を对象とした研修会の開催</li> <li>森林経営計画作成支援 研修会等開催 (延べ18回)</li> </ul>	<p>市町村を对象とした研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村を对象とした研修会の開催</li> <li>森林経営計画作成支援 研修会等開催 (延べ22回)</li> </ul>	<p>市町村を对象とした研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村を对象とした研修会の開催</li> <li>森林経営計画作成支援 研修会等開催 (延べ22回)</li> </ul>	<p>森林経営計画の策定 123千ha 木材生産量 (H28) 510千m<sup>3</sup></p>
	<p>低コスト造林と獣害対策の研究・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンテナ苗実証試験 (郡上市)</li> <li>防護柵の設置への補助率を引き上げ (68%から100%へ)</li> </ul>	<p>コンテナ苗実証試験 (下呂市)</p> <p>岐阜森林管理署と協働で実施</p>	<p>低コスト造林モデル 4件採択</p> <p>獣害対策の研修会開催</p>	<p>低コスト造林モデル 5件採択</p> <p>獣害対策の研修会開催</p>	<p>低コスト造林モデル 5件採択</p> <p>主伐・再造林実証モデル 7箇所</p> <p>獣害防除対策試験地 3箇所</p>	<p>コンテナ苗生産量 (H28) 284千本</p>
生 き た 森 林 づ く り	<p>施業プランナーの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに18人養成 (延べ81人)</li> </ul>	<p>「岐阜県森林経営プランナー整備制度」創設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに17人養成 (延べ98人)</li> </ul>	<p>新たに16人養成 (延べ114人認定)</p>	<p>新たに10人養成 (延べ124人認定)</p>	<p>新たに9人養成 (延べ133人認定)</p>	<p>施業プランナー養成 延べ133人</p> <p>岐阜県森林経営プランナー 延べ77人</p>
	<p>フォレストターの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他県との技術交流会開催 (8回)</li> <li>ドイツフォレストター研修 (5日間)</li> <li>スイスフォレストター研修 (3日間) 開催</li> </ul>	<p>他県との技術交流会開催 (7回)</p> <p>欧州フォレストターによる「森林作業道 作設オペレーター一斉成現地検討会」開催 (6日間)</p>	<p>他県との技術交流会開催 (7回)</p> <p>欧州フォレストターによる「森林作業道 作設オペレーター一斉成現地検討会」開催 (7日間、産学2日間)</p>	<p>他県との技術交流会開催 (8回)</p> <p>欧州フォレストターを活用した「次世代型林業架線技術を普及するため、欧州製タワヤーダを導入</p>	<p>他県との技術交流会開催 (4回)</p> <p>欧州製タワヤーダを活用した「次世代型林業架線架線研修」開催</p>	<p>フォレストター (森林総合監理士) 認定者 延べ61人</p>
優 良 県 産 材 供 給 倍 増 プ ロ ジ ェ ク ト	<p>木材流通の合理化・加工体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大型製材工場整備に向け、郡上市と製材企業間で工場立地協定を締結</li> <li>流通施設整備 (2事業体)</li> <li>加工施設整備 (3事業体)</li> <li>プレカット加工施設整備 (3事業体)</li> </ul>	<p>大型製材工場 (郡上市) 整備着手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>流通施設整備 (4事業体)</li> <li>木材加工施設整備 (7事業体)</li> <li>プレカット加工施設整備 (1事業体)</li> </ul>	<p>大型製材工場 (郡上市) 施設整備支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>流通施設整備 (2事業体)</li> <li>木材加工施設整備 (2事業体)</li> <li>プレカット加工施設整備 (1事業体)</li> </ul>	<p>大型製材工場 (郡上市) 本格稼働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木材加工施設整備 (5事業体)</li> <li>プレカット加工施設整備 (1事業体)</li> </ul>	<p>流通施設整備 (3事業体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレカット加工施設整備 (1事業体)</li> </ul>	<p>A材を約5～10万m<sup>2</sup>使用する大型製材工場を郡上市に整備 (H27.9～本格稼働)</p> <p>製材工場への木材直送量 (H28) 26.4万m<sup>3</sup></p>
	<p>ぎふの木で家づくり支援事業等による県産材住宅への支援</p>	<p>「木造住宅アドバイザー」養成</p>	<p>県外への支援を開始 (新築)</p> <p>バリアフリー床改修加算を開始 (改修)</p>	<p>県外への支援を開始 (新築)</p> <p>バリアフリー床改修加算を開始 (改修)</p>	<p>移住定住者向け支援を開始</p> <p>内装材「ぎふ性能表示材」使用加算を開始</p>	<p>ぎふの木で家づくり支援事業等 延べ新築1,078棟、内装413棟支援</p> <p>木造住宅アドバイザー養成 5年間で67人</p> <p>木造住宅相談員養成 5年間で134人</p>
倍 増 プ ロ ジ ェ ク ト	<p>公共施設等の木造化・内装木質化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県有施設5、公共施設等 10</li> </ul>	<p>県有施設3、公共施設等 20</p>	<p>県有施設3、公共施設等 14</p>	<p>県有施設6、公共施設等 12</p>	<p>県有施設7、公共施設等 10</p>	
	<p>県外への販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>展示会出展</li> </ul>	<p>展示会出展 (岐阜県・長野県「広域認証材」の広域認証規格を決定)</p> <p>広域認証材PRパンフレット作成</p>	<p>展示会出展 (東京・名古屋)</p> <p>岐阜県・長野県「広域認証材」を活用した住宅モデルハウス整備 (名古屋市内)</p> <p>県産材の輸出推進</p>	<p>展示会出展 (東京・名古屋)</p> <p>「WOODコレクション2016」開催 (東京都内)</p> <p>「WOODコレクション2017」開催 (東京都内)</p>	<p>展示会出展 (東京・名古屋)</p> <p>「WOODコレクション2016」開催 (東京都内)</p> <p>「WOODコレクション2017」開催 (東京都内)</p>	<p>展示会出展 (東京・名古屋)</p> <p>「WOODコレクション2016」開催 (東京都内)</p> <p>「WOODコレクション2017」開催 (東京都内)</p>
		<p>岐阜県産材輸出推進協議会を設置</p>	<p>「KOREA BUILD 2017」出展 (韓国)</p> <p>日本式木造住宅建築技術ビジネスセミナー開催</p>	<p>「KOREA BUILD 2017」出展 (韓国)</p> <p>木造軸組住宅建築技術ビジネスセミナー開催</p>		

### Ⅲ 主な施策の実施状況

#### 1. 生きた森林づくり

##### (1) 効率的な森林施業の実施（林業及び木材産業の振興）

###### ◆実績

木材(丸太)生産量：32.5万m<sup>3</sup> (H22) → 51.0万m<sup>3</sup> (H28) [H28目標50万m<sup>3</sup>]  
森林経営計画策定面積：123千ha (H24～28) [H24～28目標200千ha]  
作業道新規開設延長：1,050km (H24～28) [H24～28目標750km]  
(森林経営計画区域内)

###### ◆評価

- 搬出間伐の推進、「森林経営計画」に基づく計画的な伐採により、木材生産は増加しました。しかし、所有者同意や境界確認が難航し、森林経営計画策定面積は計画どおりの進捗となっていません。
- 5年間で目標を上回る1,050kmの作業道が開設され、効率的な木材生産の基盤整備が進みました。
- ドイツ・ロッテンブルク大学との連携により、林業技術を取り入れる取組みを進めました。
- 製材、合板、木質バイオマス燃料用チップの素材需要に対応するため、安定供給体制を確立する必要があります。



高性能林業機械による集材作業



森林作業道の現地検討会

##### (2) 県産材の利用の拡大（林業及び木材産業の振興）

###### ◆実績

人工乾燥材の割合：31.0% (H22) → 45.6% (H28) [H28目標60%]  
県産材住宅の割合：16.1% (H22) → 16.2% (H28) [H28目標21%]  
公共施設の木造化及び内装木質化：90施設 (H24～28) [H24～28目標80施設]

#### ◆評価

- 柱や梁となる A 材、合板の材料となる B 材、パルプやチップ、発電用の原料となる C・D 材といった品質別の木材の生産加工体制の構築に取り組み、木材を余すことなく利用する体制が整備されました。また、木材流通の合理化が進み、売り中心の市場から直送システムによる販売形態へ変革を遂げました。
- 人工乾燥材の割合は計画どおりの進捗となっていませんが、年々増加し、全国平均 36.8%を上回り、全国 7 位となっています。
- 高品質な県産材住宅建設に取り組む建築士、工務店等は増加しましたが、新設住宅着工のうち戸建木造軸組住宅に占める県産材住宅の割合は、平成 22 年度以降横ばいです。
- 公共施設では、県有施設で 24 施設、市町村等施設で 66 施設の木造化及び内装木質化が進みました。
- 県産材の利用を進めるため、更なる販路の拡大が必要です。



県産材を利用したモデルハウス



公共施設の内装木質化

### (3) 技術者及び担い手の育成・確保（人づくり及び仕組みづくりの推進）

#### ◆実績

森林技術者数：1,166 人（H22）→ 930 人（H28）[H28 目標 1,220 人]  
施業プランナー育成者数：45 人（H22）→ 133 人（H28）[H28 目標 120 人]  
森林文化アカデミー卒業生県内就職率：78%（H22）→ 64%（H28）  
（エンジニア科） [H28 目標 70%]

#### ◆評価

- 一定数の新規就業者もいますが、定年退職や転職等による離職者が多いため、漸減している状況です。一方で、若年層の就業により、若返りが進んでいます。
- 目標値を上回る施業プランナーが養成され、知識・技術の向上が図られました。
- 林業に関心のある人に対する就業支援や、就業後の技術研修等による定着支援を引き続き行う必要があります。



「施業プランナー」の育成研修



「施業プランナー」の育成研修（内業）

## 2. 恵みの森林づくり

### (1) 森林の適正な保全、森林空間の利用の促進

(健全で豊かな森林づくりの推進)

#### ◆実績

水源林整備面積：目標 15,000ha (H24~28) → 実績 12,640ha

里山林整備面積：目標 2,600ha (H24~28) → 実績 2,649ha

※水源林と里山林の整備面積の目標は、清流の国ぎふ森林・環境基金事業計画における数値

魚つき保安林の指定箇所数：1箇所 (H22) → 7箇所 [H28 目標5箇所]

環境保全モデル林：5箇所 (H24~28) [H24~28 目標5箇所]

#### ◆評価

- 環境保全を目的とした森林の整備・保全が進んでいます。とりわけ、里山林整備のニーズが高く実施面積も増加しています。
- 環境保全を重視した新たな森林づくりを進めるための「環境保全モデル林」の選定、計画づくり、整備が進められ、里山林の利活用が進んでいます。
- 引き続き、水源林や里山林の整備・保全が必要です。また、「環境保全モデル林」の一層の活用と全県的な広がりがが必要です。



「環境保全モデル林」の活用



魚つき保安林（郡上市）

## (2) 木育・森林環境教育の推進（人づくり及び仕組みづくりの推進）

### ◆実績

木育・森林環境教育指導者研修受講者数：

327人（H24～28） [H24～28 目標 250人]

「木育教室」・「緑と水の子ども会議」実施校数：

149校（H22）→322校（H28） [H28 目標 220校]

### ◆評価

- 平成25年に「ぎふ木育30年ビジョン」を策定し、「ぎふ木育」の推進に関する施策を進めるとともに、「第39回全国育樹祭」を契機として、森林を次世代につなぐための「ぎふ木育」への機運や関心が高まり、教育機関への普及が着実に進み、目標値を大きく上回りました。
- 県内の幼稚園、保育園、小・中・高等学校の約4校に1校で「木育教室」・「緑と水の子ども会議」が実施されています。
- 木育や森林環境教育は広がりを見せているものの、活動が活発な地域に偏りがみられます。
- 活動が一層活発となり、全県的な展開になるような取組みが必要です。



ぎふ木育キャラバンの実施



緑と水の子ども会議

## (3) 県民との協働による森林づくりの推進（人づくり及び仕組みづくりの推進）

### ◆実績

森林づくりに関する企業等との協定締結数：13件（H22）→21件（H28）

[H28 目標 19件]

### ◆評価

- 森林づくりに関する企業等との協定は増加しており、森林づくりへの関心が高まっています。
- 各企業等の継続的な活動や県内各地域での森林づくり活動の更なる広がりが必要です。





企業との協働による森林づくり（植栽作業）



企業との協働による森林づくり（間伐作業）

### 3. 共通（基盤整備）

#### （1）災害に強い森林づくり（健全で豊かな森林づくり）

##### ◆実績

間伐実施面積：47,316ha（H24～28） [H24～28 目標 62,000ha]

搬出間伐材積：73,143m<sup>3</sup>(H22)→ 176,374 m<sup>3</sup>(H28)[H28 目標 125,400 m<sup>3</sup>]

災害跡地復旧工事3年以内完了率：36.1%（H22）→66%（H28）[H28 目標 100%]

##### ◆評価

- 間伐の方法が、伐り捨て間伐から搬出間伐へ移行したことに伴い、労働力不足、所有者同意や境界明確の難航により、間伐実施面積は計画どおりの進捗となっておりません。一方で、搬出間伐は進み、木材生産量は増加しています。
- 山地災害が発生した箇所では、早期復旧に向けた治山事業を実施しています。
- 森林の境界明確化を進めるとともに、計画的な労働力の確保、機械化を推進することが必要です。



間伐を実施した森林



災害関連復旧治山事業

岐阜県における森林・林業施策の実績（平成24年度～平成28年度）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
健全で豊かな森林づくりの推進	<p><b>災害に強い森林づくりの推進</b></p> <p>森林経営計画の策定支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導、研修会等の開催</li> <li>森林経営計画策定面積 46千ha</li> </ul> <p>間伐の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>間伐実施面積 10,463ha</li> <li>搬出間伐材積 191,943m<sup>3</sup></li> </ul> <p>治山事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害跡地復旧工事3年以内完了率92%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導、研修会等の開催</li> <li>森林経営計画策定面積 75千ha</li> <li>間伐実施面積 8,844ha</li> <li>搬出間伐材積 160,525m<sup>3</sup></li> <li>災害跡地復旧工事3年以内完了率97%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導、研修会等の開催</li> <li>森林経営計画策定面積 93千ha</li> <li>間伐実施面積 8,605ha</li> <li>搬出間伐材積 149,412m<sup>3</sup></li> <li>災害跡地復旧工事3年以内完了率98%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導、研修会等の開催</li> <li>森林経営計画策定面積 106千ha</li> <li>間伐実施面積 10,379ha</li> <li>搬出間伐材積 180,928m<sup>3</sup></li> <li>災害跡地復旧工事3年以内完了率96%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導、研修会等の開催</li> <li>森林経営計画策定面積 123千ha</li> <li>間伐実施面積 9,025ha</li> <li>搬出間伐材積 176,374m<sup>3</sup></li> <li>災害跡地復旧工事3年以内完了率66%</li> </ul>	<p>森林経営計画策定面積：延べ123千ha</p> <p>冊子「森林経営計画策定のための高橋度森林情報活用法」(H28)</p> <p>間伐実施面積：延べ47,316ha</p> <p>冊子「木材生産のための過密林の間伐のしかた」(H26)</p> <p>冊子「ヒノキ人工林の表土流亡を防ぐために」改訂(H27)</p> <p>「木製治山構造物技術指針(案)Ver.1.1」(H27)</p>
	<p><b>森林の適正な保全</b></p> <p>「森林パトロール」の実施</p> <p>「魚つき保安林」の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚つき保安林を飛騨市で指定</li> </ul> <p>岐阜県水源地域保全条例 制定</p> <p>公有林化による水源林の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4ha（白川町）</li> </ul> <p>クマやシカによる皮剥被害対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予防テラジ 巻き、防護柵設置等の実施（防護柵設置の補助率100%へ対策強化）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚つき保安林を山県市で指定</li> <li>平成25年4月1日施行</li> <li>事前届出制度開始（10月1日から）</li> <li>事前届出 15件</li> <li>11ha（白川町）</li> <li>予防テラジ 巻き、防護柵設置等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚つき保安林を恵那市で指定</li> <li>事前届出 20件</li> <li>33ha（中津川市、白川町、八百津町）</li> <li>予防テラジ 巻き、防護柵設置等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚つき保安林を揖斐川町で指定</li> <li>事前届出 10件</li> <li>26ha（八百津町、白川町）</li> <li>予防テラジ 巻き、防護柵設置等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚つき保安林：7箇所（H28年度末）</li> <li>指定水源地域（H28年度末）：22市町村、258箇所、約52千ha</li> <li>水源林整備面積：延べ12,640ha</li> <li>公有林化：77ha</li> <li>「シカハギ防止の手引き」(H26)</li> <li>「被害木を薪にしてナラ枯れを防止する」(H25)</li> </ul>	
	<p><b>森林空間の利用の促進</b></p> <p>生活環境保全林の利用向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の再整備支援</li> <li>入込者数113万人</li> </ul> <p>環境保全モデル林の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1号選定（美濃市古城山）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の再整備支援</li> <li>入込者数120万人</li> <li>第1号整備（美濃市古城山）</li> <li>第2号選定（可児市我田の森）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の再整備支援</li> <li>入込者数112万人</li> <li>第1号活用開始（美濃市古城山）</li> <li>第2号整備（可児市我田の森）</li> <li>第3号選定（土岐市土岐高山城跡の森）</li> <li>第4号選定（中津川市加子母福崎の森）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の再整備支援</li> <li>入込者数112万人</li> <li>第2号活用開始（可児市我田の森）</li> <li>第3号整備（土岐市土岐高山城跡の森）</li> <li>第4号整備（中津川市加子母福崎の森）</li> <li>第5号選定（揖斐川町城台山）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境保全林の再整備支援</li> <li>入込者数112万人</li> <li>第3号活用開始（土岐市土岐高山城跡の森）</li> <li>第4号活用開始（中津川市加子母福崎の森）</li> <li>第5号整備（揖斐川町城台山）</li> </ul>	<p>里山林整備面積：延べ2,649ha</p> <p>環境保全モデル林：延べ5箇所指定</p>
	<p>「恵みの森づくりコンソーシアム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント参加、勉強会・交流会開催</li> <li>会員数31人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試作品賞出、PR活動、勉強会等開催</li> <li>会員数32人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試作品賞出、PR活動、勉強会等開催</li> <li>会員数35人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試作品賞出、PR活動、勉強会等開催</li> <li>会員数36人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>試作品賞出、PR活動、勉強会等開催</li> <li>会員数36人</li> </ul>	

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
林業及び木材産業の振興	<b>効率的な森林施業の実施</b> <b>高性能林業機械の導入支援</b> ・ 9台	・ 7台 <b>次世代型架線技術者研修開催</b>	ドイツロッテンブルク大学と森林文化アカデミーとの間で連携にかかる覚書を締結 ・ 7台	・ 17台 ・ 次世代型タワーヤーダ導入（県）	高性能林業機械導入支援：延べ47台 架線技術者養成人数（県内研修）：延べ27人 架線技術者養成人数（海外研修）：延べ6人	
	<b>林内路網の整備</b> ・ 森林経営計画区域内作業道新規開設延長154km ・ 林道10.465m、林内路網密度(21.5m/ha) <b>木材生産体制の合理化</b> ・ 木材生産量36.3万m <sup>3</sup> ・ 製材工場等への木材直送量21.7万m <sup>3</sup>	・ 森林経営計画区域内作業道新規開設延長378km ・ 林道7.114m、林内路網密度(21.8m/ha) ・ 木材生産量38.1万m <sup>3</sup> ・ 製材工場等への木材直送量22.2万m <sup>3</sup>	・ 森林経営計画区域内作業道新規開設延長641km ・ 林道4.302m、林内路網密度(22.2m/ha) ・ 木材生産量43.8万m <sup>3</sup> ・ 製材工場等への木材直送量25.7万m <sup>3</sup>	・ 森林経営計画区域内作業道新規開設延長1,050km ・ 林道3.598m、林内路網密度(22.8m/ha) ・ 木材生産量51.0万m <sup>3</sup> ・ 製材工場等への木材直送量26.4万m <sup>3</sup>	作業道開設研修実施：延べ254人 冊子「森林作業道開設の手引きー土砂を流出させない道づくりー」(H24)	
	<b>県産材の利用の拡大</b> <b>品質向上と安定供給体制の強化</b> ・ 大型製材工場（郡上市）整備着手 ・ 材企業間で工場立地協定を締結 ・ 流通施設整備（2事業体） ・ 加工施設整備（3事業体） ・ プレカット加工施設整備（3事業体） <b>製材工場の体質強化</b> ・ 経営セミナー、乾燥技術指導 ・ 人工乾燥材割合34.5% ・ ぎふ性能表示材製品出荷量9.9千m <sup>3</sup>	・ 大型製材工場（郡上市）施設整備支援 ・ 流通施設整備（2事業体） ・ 木材加工施設整備（2事業体） ・ プレカット加工施設整備（1事業体） ・ 経営個別指導、乾燥技術指導 ・ 人工乾燥材割合40.3% ・ ぎふ性能表示材製品出荷量9.7千m <sup>3</sup>	・ 大型製材工場（郡上市）本格稼働 ・ 木材加工施設整備（5事業体） ・ プレカット加工施設整備（1事業体） ・ 人工乾燥材割合43.9% ・ ぎふ性能表示材製品出荷量8.2千m <sup>3</sup>	・ 大型製材工場（郡上市）本格稼働 ・ 流通施設整備（3事業体） ・ 木材加工施設整備（5事業体） ・ プレカット加工施設整備（1事業体） ・ 人工乾燥材割合45.6% ・ ぎふ性能表示材製品出荷量8.4千m <sup>3</sup>	A材を約5～10万m <sup>3</sup> 使用する大型製材工場を郡上市に整備（H27.9～本格稼働） H28乾燥材割合：45.6% 全国7位（全国平均36.8%）	
	<b>県産材製品の販路拡大</b> ・ ぎふ性能表示材を展示会等でPR <b>新製品開発に関する取組み支援</b>	<b>岐阜県産材輸出推進協議会を設置</b>	<b>岐阜県産材輸出推進協議会を設置</b>	・ ぎふ性能表示材 内装材規格追加 ・ 国内外に向けた販路拡大の取組み支援 ・ 韓国展示会への出展	木材製品出荷量（H28次）：1,229m <sup>3</sup>	
	<b>県産材住宅の建設促進</b> ・ 岐阜県木造住宅アドバイザー養成 ・ 岐阜県木造住宅相談員養成 ・ ぎふの木で家づくりの推進 「ぎふの木で内装木質化支援事業」の内装改修の補助対象に店舗を追加	県内全市町村 県産材利用方針を策定 ・ 県有施設3、公共施設等20 ・ 公共施設木造化研修会開催	・ 県有施設3、公共施設等14 ・ 本格稼働開始（12月） ・ 木質バイオマス券実施施設建設着手 ・ 「岐阜県木質バイオマス協議会」設立	・ 移住定住者向け支援を開始 ・ 内装材「ぎふ性能表示材」使用加算開始 ・ 商業施設の内装改修支援対象を拡大 ・ 県有施設6、公共施設等12 ・ 公共施設木造化研修会開催	木造住宅アドバイザー養成 5年間67人 木造住宅相談員養成 5年間で134人 ぎふの木で家づくり支援事業：延べ新築1,078棟、内装413棟支援 公共施設の木造化及び内装木質化：延べ90施設	
	<b>森林資源の有効利用の促進</b> <b>C・D材の利用促進</b>	・ 県有施設5、公共施設等10 ・ 公共施設木造化研修会開催	・ 県有施設3、公共施設等14 ・ 本格稼働開始（12月）	・ 県有施設7、公共施設等10 ・ 公共建築物の木材利用推進シンポジウム開催	未利用材を中心に年間9万ト/使用する木質バイオマス発電施設を瑞穂市に整備（H26.12～本格稼働）	
	<b>未利用材搬出活動支援</b> ・ 4市町5地域 512ト	・ 5市町8地域 964ト	・ 7市町15地域 2,282ト	・ 9市町21地域 2,971ト	地域ぐるみの未利用材搬出活動 9市25地域へ拡大	
	<b>木質バイオマス利用施設の導入促進</b> ・ 4市7箇所 98台	・ 4市5台	・ 7市町44台	・ 7市17箇所 52台	・ 9市町25地域 3,323ト	
	<b>特用林産品の振興</b> ・ キノコ生産4,210ト ・ キノコ生産者を巡回指導	・ キノコ生産量3,877ト ・ 巡回指導	・ キノコ生産量3,023ト ・ 巡回指導	・ キノコ生産量3,136ト ・ 巡回指導、キノコ栽培実証試験実施	冊子「菌床シタケの鮮度保持～変色を防ぐ～」(H28)	

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
人 づ く り 及 び 仕 組 み づ く り の 推 進	<p>木育・森林環境教育の推進</p> <p>「ぎふ木育30年ビジョン」策定 (H25.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木育・森林環境教育指導者研修 78人</li> <li>木育・森林環境教育指導者研修 78人</li> <li>木育・森林環境教育指導者研修 78人</li> </ul> <p>木育教室・緑と水の子どもの会議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ204校で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木育・森林環境教育指導者研修 29人</li> <li>木育・森林環境教育指導者研修 70人</li> <li>ぎふ木育キャラバン開催</li> </ul> <p>延べ231校で実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木育・森林環境教育指導者研修 85人</li> <li>ぎふ木育キャラバン開催</li> </ul> <p>常設版「ぎふ木育ひろばの認定」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>21施設</li> </ul> <p>延べ300校で実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木育・森林環境教育指導者研修 65人</li> <li>ぎふ木育キャラバン開催</li> <li>木育拠点整備に向けた事業を開始</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>15施設</li> </ul> <p>延べ322校で実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木育・森林環境教育指導者研修 65人</li> <li>ぎふ木育キャラバン開催</li> <li>木育拠点整備に向けた事業を開始</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>15施設</li> </ul> <p>延べ322校で実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木育・森林環境教育指導者研修受講者数：延べ327人</li> <li>木育教室・緑と水の子どもの会議の実施：延べ322校の小中高等学校等</li> </ul>
	<p>県民との協働による森林づくりの推進</p> <p>ぎふ山の日及びぎふの山に親しむ月間の普及</p>	<p>「第39回全国青樹祭」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催県正式決定</li> <li>第23回緑の少年団全国大会の開催</li> <li>第39回全国青樹祭1年前イベント開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第23回緑の少年団全国大会の開催</li> <li>第39回全国青樹祭1年前イベント開催</li> <li>「青林技術交流会」(郡上市)、「全国緑の少年団活動発表大会」(揖斐川町)</li> <li>「森林・林業・環境機構展示演説会」(高山市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第23回緑の少年団全国大会の開催</li> <li>第39回全国青樹祭1年前イベント開催</li> <li>「青林技術交流会」(郡上市)、「全国緑の少年団活動発表大会」(揖斐川町)</li> <li>「森林・林業・環境機構展示演説会」(高山市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第23回緑の少年団全国大会の開催</li> <li>第39回全国青樹祭1周年・全国植樹祭10周年記念大会開催(揖斐川町)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国青樹祭1周年・全国植樹祭10周年記念大会開催(揖斐川町)</li> </ul>
	<p>企業との協働による森林づくり活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定締結延べ17件 約2,700人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定締結延べ17件 約3,000人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定締結延べ19件 約4,300人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定締結延べ21件 約4,900人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業との協働による森林づくり：延べ21の企業等と協定を締結(5年間で6件協定締結、延べ約17,900人参加)</li> </ul>
	<p>「ぎふ山の日フェスタ」の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎふ山の日フェスタ2013」を岐阜市で開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎふ山の日フェスタ2014」を岐阜市で開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎふ山の日フェスタ2015」を岐阜市で開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ぎふ山の日フェスタ2016」を岐阜市で開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民の祝日「山の日」の制定に伴い、「ぎふ山の日」を廃止 (H28.3)</li> </ul>
	<p>「森と木とのふれあいフェア」の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくり関連イベント出展団体数69</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくり関連イベント出展団体数82</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくり関連イベント出展団体数145</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくり関連イベント出展団体数50</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林づくり関連イベント出展団体数50</li> </ul>
	<p>ぎふ森林づくりリサポーターセンター活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集・発信、コーディネート等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集・発信、コーディネート等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集・発信、コーディネート等</li> <li>安全管理研修・里山づくり後継者養成講座開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集・発信、コーディネート等</li> <li>安全管理研修・里山づくり後継者養成講座開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集・発信、コーディネート等</li> <li>安全管理研修・里山づくり後継者養成講座開催</li> </ul>
	<p>技術者及び担い手の育成・確保</p>	<p>「森林技術者」の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林技術者数1,097人(うち新規72人)</li> </ul> <p>「岐阜県森林経営プランナー登録制度」創設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たに17人養成(延べ98人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林技術者数1,029人(うち新規75人)</li> <li>新たに16人養成(延べ114人)</li> </ul> <p>6人認定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林技術者数947人(うち新規62人)</li> <li>新たに10人養成(延べ124人)</li> </ul> <p>4人認定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林技術者数930人(うち新規54人)</li> <li>新たに9人養成(延べ133人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期「岐阜県森林・林業担い手育成総合戦略」(H29～H33)策定 (H29.3)</li> <li>森林技術者数930人(うち新規54人)</li> </ul>
	<p>高性能林業機械オペレーター養成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9人認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9人認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9人認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9人認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9人認定</li> </ul>
	<p>森林文化アカデミー卒業生県内就職率</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>79%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>50%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>53%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>64%</li> </ul>
	<p>地域が主体となった森林づくりの支援</p>	<p>「市町村森林管理委員会」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独自の取組みを行った委員会数 17</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>独自の取組みを行った委員会数 20</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>独自の取組みを行った委員会数 24</li> </ul> <p>岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム設立 (H26.9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>独自の取組みを行った委員会数 25</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>独自の取組みを行った委員会数 26</li> </ul>
<p>技術の向上及び普及</p>	<p>フォレストターの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術の調査研究</li> <li>新技術開発件数2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術開発件数2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術開発件数5件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術開発件数4件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術開発件数4件</li> </ul>	
<p>技術の調査研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術開発件数2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術開発件数2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術開発件数5件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術開発件数4件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新技術開発件数4件</li> </ul>	

## 4. 基本方針ごとの目標に対する実績

### (1) 健全で豊かな森林づくりの推進

1 森林経営計画策定面積（千 ha） ＜累計＞

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率*)
実績	—	46	75	93	106	123	200 (62%)

2 間伐の実施面積（ha）

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	14,284	10,463	8,844	8,605	10,379	9,025	12,400 (73%)

3 搬出間伐材積（m<sup>3</sup>）（森林整備事業分）

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	73,143	191,943	160,525	149,412	180,928	176,374	125,400(198%)

4 災害跡地復旧工事3年以内完了率（%）

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	36.1	92	97	98	96	66	100 (47%)

5 魚つき保安林の指定箇所数（箇所） ＜累計＞

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	1	3	4	5	6	7	5 (150%)

6 生活環境保全林への入込者数（万人）

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	112	113	120	112	112	112	112 (100%)

7 恵みの森づくりコンソーシアム会員数（人） ＜累計＞

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	—	31	32	35	36	36	100 (36%)

（恵みの森づくりコンソーシアム：NPO、企業等による里山林や奥山林の保全と新たな利活用を進める組織。）

8 環境保全モデル林指定数（箇所） ＜累計＞

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	—	1	2	4	5	5	5 (100%)

(※) 達成率算出方法

$$\text{達成率} = \frac{\text{実績値} - \text{基準値}}{\text{目標値} - \text{基準値}} \quad (\text{基準値} = \text{基準年 H22 の実績値})$$

ただし、基準値がない項目、「目標値－基準値」が0以下の項目は、「達成率＝実績値／目標値」で算出。

## (2) 林業および木材産業の振興

### 9 木材（丸太）生産量（万m<sup>3</sup>）

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	32.5	36.3	36.8	38.1 (37.1)	43.8 (34.8)	51.0 (38.9)	50 (106%)

(H26～H28 は木質バイオマスを含めた生産量。( )内は農林水産統計(木質バイオマスを含めない。)

### 10 森林経営計画区域内作業道新規開設延長 (km)

<累計>

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	—	154	378	641	868	1,050	750 (140%)

### 11 製材工場等への木材直送量（万m<sup>3</sup>）

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	13	21.7	22.4	22.2	25.7	26.4	26 (103%)

### 12 製材品出荷量に占める人工乾燥材の割合(%)

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	31	34.5	37.8	40.3	43.9	45.6	60 (50%)

### 13 ぎふ性能表示材製品出荷量（千m<sup>3</sup>）

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	1	9.9	14.5	9.7	8.2	8.4	50 (15%)

### 14 県内新設戸建軸組住宅に占める県産材住宅の割合(%)

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	16.1	15.1	16.4	18.2	15.3	16.2	21 (2%)

### 15 公共施設の木造化及び内装木質化施設数（施設）

<累計>

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	—	15	38	55	73	90	80 (113%)

### 16 木質バイオマス利用量（燃料用途）（千m<sup>3</sup>）

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	11	12.5	15.1	9.7	90.0	121.4	24 (849%)

(木質バイオマス利用量(燃料用途):原木から木質燃料として加工される利用量。製材端材、木質系廃棄物を除く。)

### 17 キノコ生産量（t）

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	4,899	4,210	3,877	3,023	3,136	3,302	5,100 (マイナス)

### (3) 人づくり及び仕組みづくりの推進

#### 18 木育・森林環境教育指導者研修受講者数(人)

<累計>

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	—	78	107	177	262	327	250 (131%)

#### 19 木育教室・緑と水の子ども会議実施校数(校)

<累計>

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	149	204	231	270	300	322	220 (244%)

#### 20 森林づくりに関する企業等との協定締結数(件)

<累計>

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	13	15	17	17	19	21	19 (133%)

#### 21 森林づくり関係イベントに出展した団体数(団体)

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	35	48	69	82	145	50	60 (60%)

(森林づくり関係イベント:山の日フェスタぎふ、森と木とのふれあいフェア、育樹祭関連イベント。)

#### 22 森林技術者数(人)

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	1,166	1,109	1,097	1,029	947	930	1,220 (マイナス)

#### 23 施業プランナー養成者数(人)

<累計>

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	45	81	98	114	124	133	120 (117%)

#### 24 森林文化アカデミー卒業生(エンジニア科)県内就職率(%)

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	78	79	70	50	53	64	70以上(91%)

#### 25 独自の取組みを行った市町村森林管理委員会数(数)

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	13	17	20	24	25	26	26 (100%)

#### 26 フォレスター認定者数(人)

<累計>

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	—	—	20	34	41	61	40 (153%)

(フォレスター:林業普及指導員資格試験区分における地域森林総合監理に合格した者の通称。)

#### 27 新技術開発件数(件)

年度	基準年(H22)	H24	H25	H26	H27	H28	目標(達成率)
実績	2	2	2	5	4	4	2 (200%)

## IV 資料編 岐阜県の森林・林業を取り巻く現状

### 1. 森林

#### (1) 森林資源

県土面積	1,062 千 ha	全国第 7 位
森林面積 (国有林を含む)	862 千 ha	全国第 5 位
森林率 (県土面積に対する森林面積の割合)	81 %	全国第 2 位
民有林面積	682 千 ha	全国第 4 位
人工林面積 (国有林を含む)	385 千 ha	全国第 6 位
天然林面積 (国有林を含む)	431 千 ha	全国第 7 位

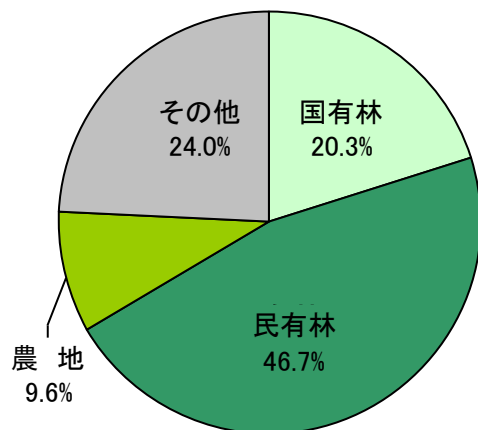
資料：林野庁計画課「森林資源の現況」(平成 24 年 3 月 31 日)

国土面積・県土面積は、全国市町村要覧平成 27 年度版

**人工林**：人為的に苗木を植栽することにより育てられた森林。スギやヒノキ等の針葉樹が中心。

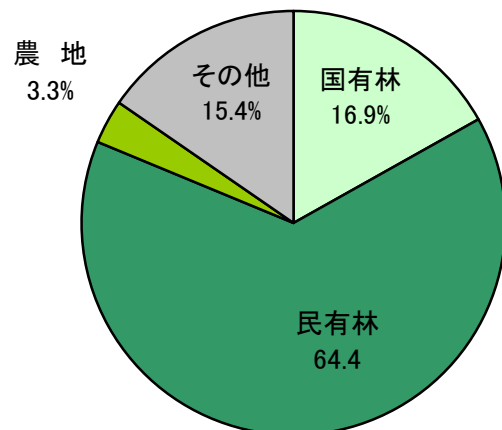
**天然林**：更新に人の手が加えられていない森林、またはほとんど手が加えられず自然のままになっている森林。ブナ、ミズナラ、クリ、コナラ、カシ類等の広葉樹\*が中心。

- 岐阜県の森林面積は 863 千 ha(平成 28 年 3 月 31 日)と県土面積の 81.2%を占めています。内訳は、国有林が 179 千 ha、民有林が 684 千 ha で民有林は県土面積の 64.4%を占めています。全国に比べ民有林の割合が高く、民有林面積は平成 23 年度末現在で全国第 4 位です。



森林面積 : 25,081 千 ha (平成 23 年度)

#### 土地(面積割合:全国)



森林面積 : 863 千 ha (平成 27 年度)

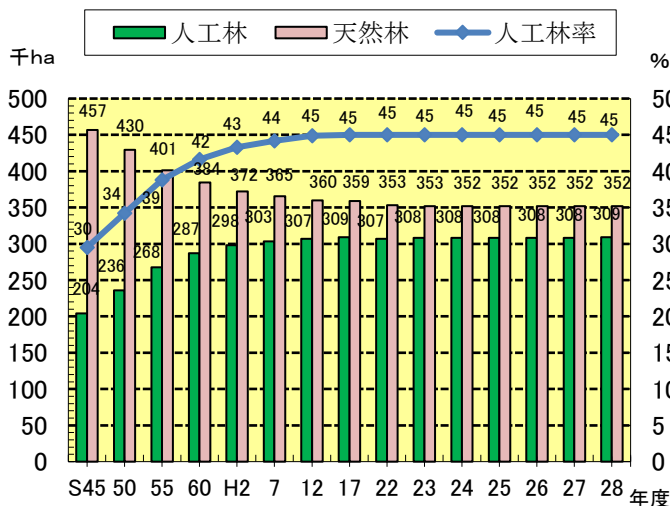
#### 土地(面積割合:岐阜県)

資料：林野庁「森林資源の現況 (平成 24 年 3 月 31 日)」  
農林水産省「2010 年世界農林業センサス」

資料：国有林面積は中部森林管理局調べ  
民有林面積は県林政課調べ  
農地面積は農林水産省「2015 年農林業センサス」

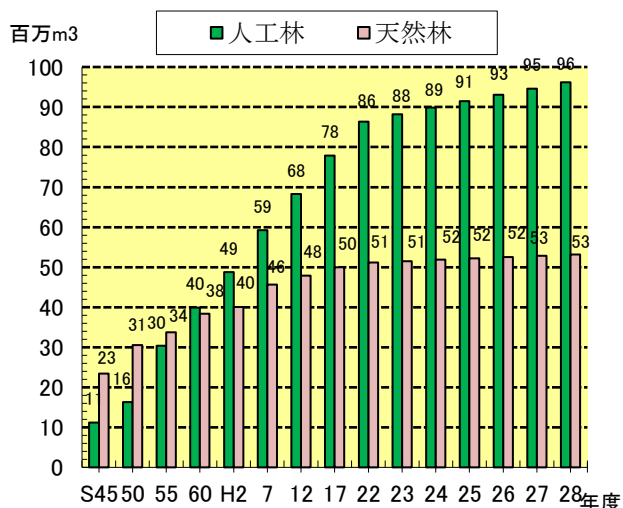
- 森林蓄積は年々増加しており、民有林蓄積は 149,387 千 m<sup>3</sup>となっています。特に人工林蓄積が著しく増加しています。





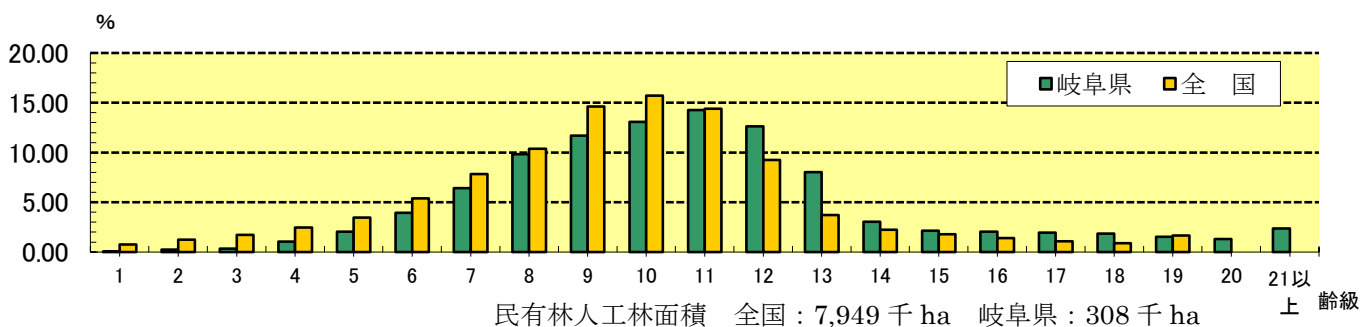
**民有林森林面積の推移**

資料：県林政課調べ

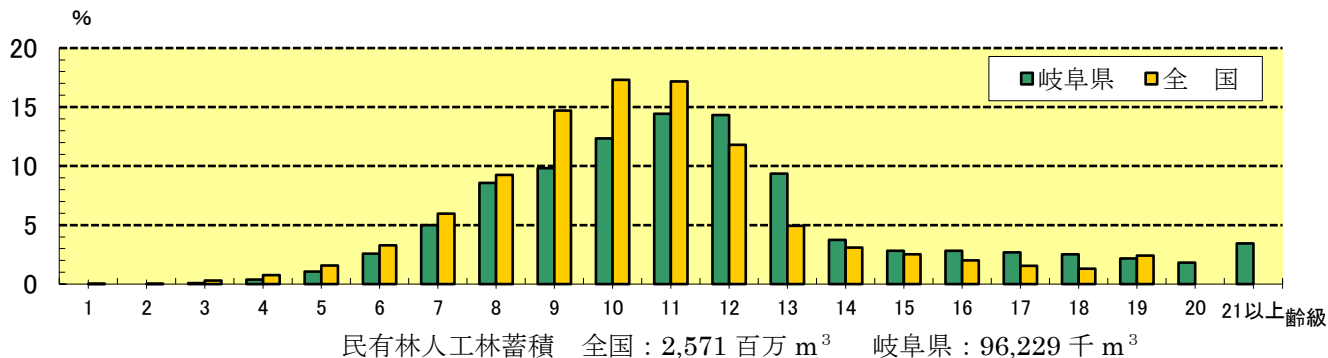


**民有林森林蓄積の推移**

- ・ 民有林人工林のうち 35 年生以下（7 齢級以下）の若・幼齢林の面積は 44 千 ha、全体の 14% を占めており、除間伐等の保育施業の実施が重要となっています。
- ・ また、間伐の対象となる 11～60 年生の人工林面積は 233 千 ha で、民有林人工林の 75% を占めています。



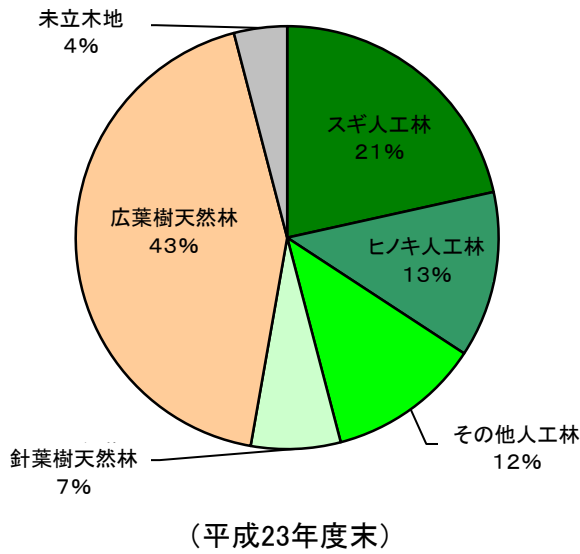
**民有林人工林齢級別面積分布**



**民有林人工林齢級別蓄積分布**

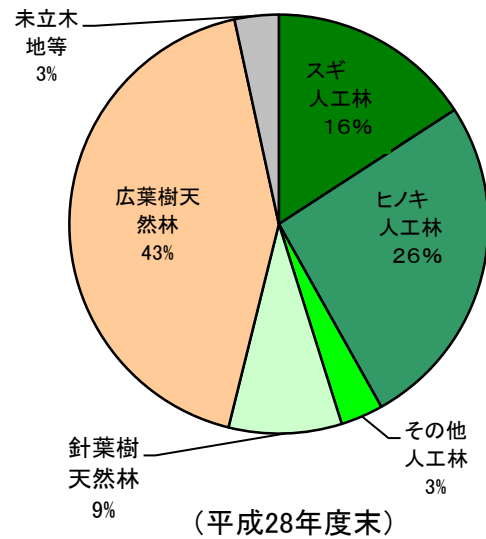
資料：全国数値は、林野庁「森林資源の現況(平成 24 年 3 月 31 日)」  
 県数値は、県林政課調べ (平成 28 年度末数値)  
 注：全国数値は 20 齢級以上の集計はしていない。

- ・ 民有林の樹種別面積をみると、ヒノキ人工林の割合が全国数値に比較して高くなっています。平成23年度末現在、本県のヒノキ人工林面積・蓄積は、高知県に次いで第2位となっています。



**民有林樹種別面積(全国)**

資料:林野庁「森林資源の現況(平成24年3月31日)」  
 県数値は、県林政課調べ

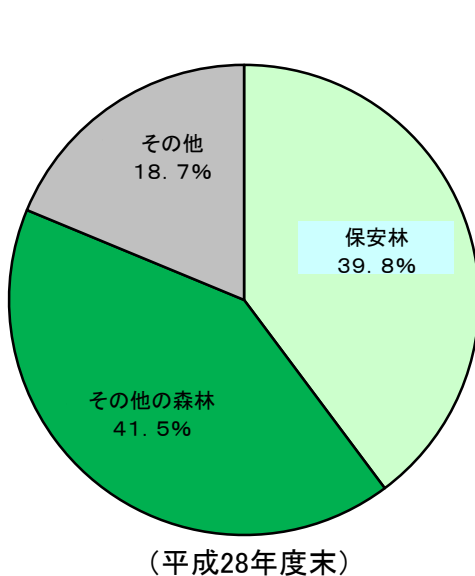


**民有林樹種別面積(岐阜県)**

資料:県林政課調べ

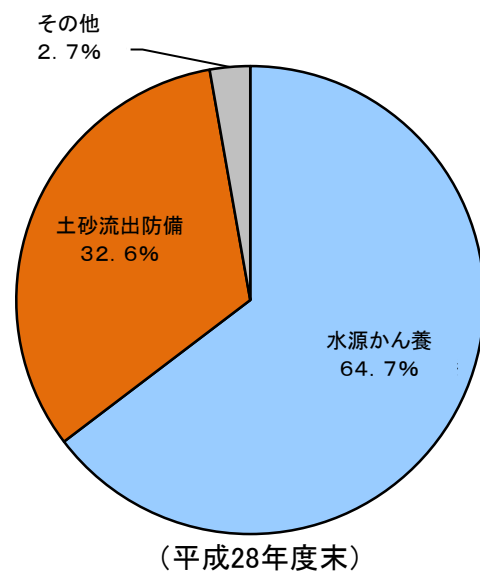
## (2) 県土の保全

- ・ 保安林面積は平成28年度末で422,584haであり、そのうち民有保安林が249,544ha、国有保安林が173,040haで、県土面積の39.8%、森林面積の49.0%を占めています。
- ・ 保安林の64.7%は、水資源の確保に重要な役割を果たしている水源かん養保安林で、続く32.6%が土砂流出防備保安林となっています。



**県土面積に占める保安林の割合**

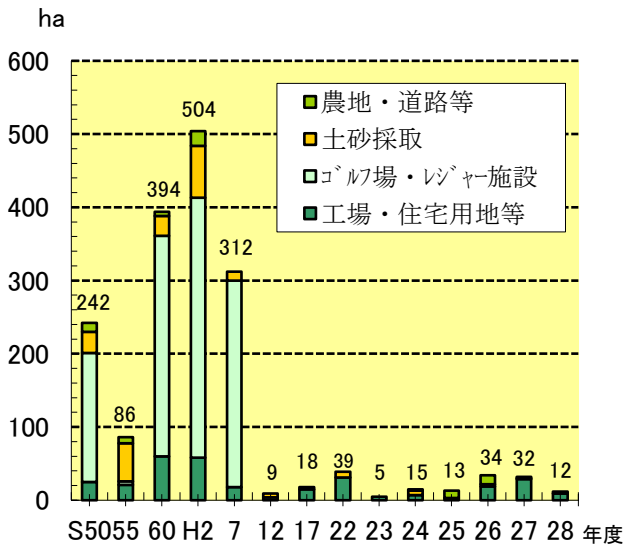
資料:県治山課調べ



**保安林の種類別構成割合**

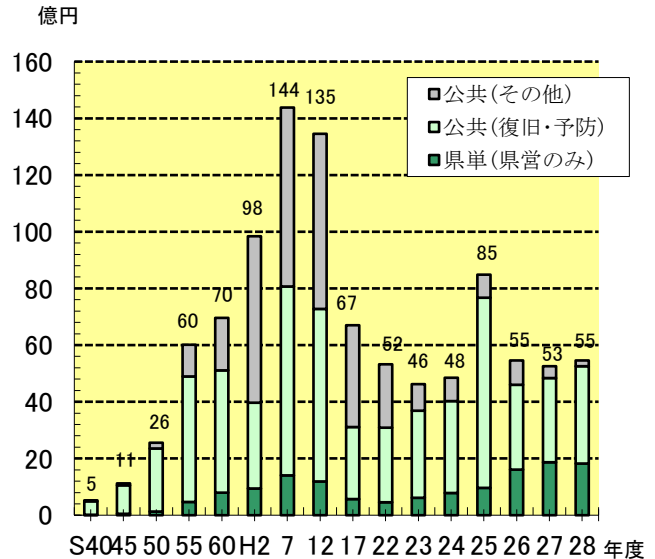
資料:県治山課調べ

- 平成 28 年度の林地開発許可件数及び面積は 6 件、12ha で、前年度より減となりました。林地開発行為許可制施行後、最も多かった平成 2 年度(504ha)と比べると、2.4%にとどまっています。
- 平成 28 年度の治山事業工事費（公共・県単（県営のみ））は 54.6 億円で、対前年度比 103.8 %と増加しています。



**林地開発許可面積の推移**

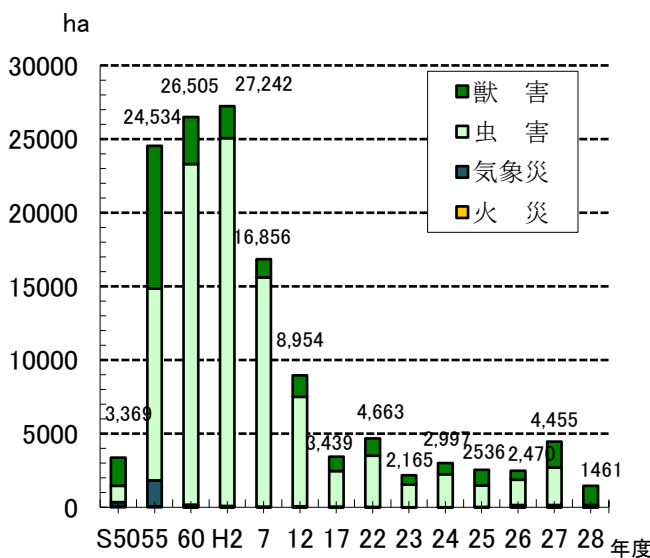
資料：県治山課調べ



**治山事業工事費の推移**

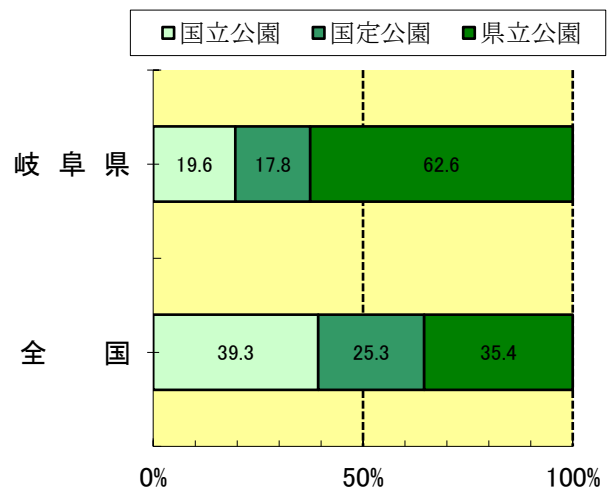
資料：県治山課調べ

- 平成 28 年度の森林被害面積は 1,461ha で、うち 1,311ha（構成比 89.7%）が獣害によるものです。
- 本県の自然公園面積は、平成 28 年度末現在 195,093ha で、県土に占める割合は 18.4%となっています。これは全国平均の 14.7%に比べ高く、中でも県立自然公園の割合が高くなっています。



**森林被害面積の推移**

資料：県森林整備課調べ



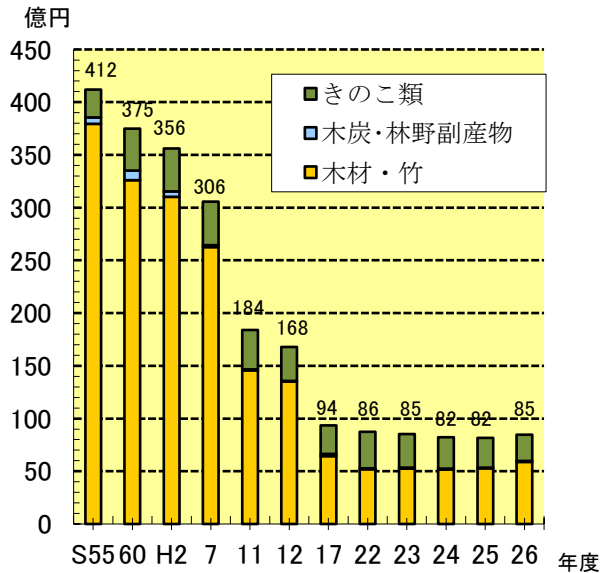
(平成 28 年度末)  
**自然公園面積の割合**

資料：環境省自然公園局「自然保護各種データ一覧」

## 2. 林業・木材産業

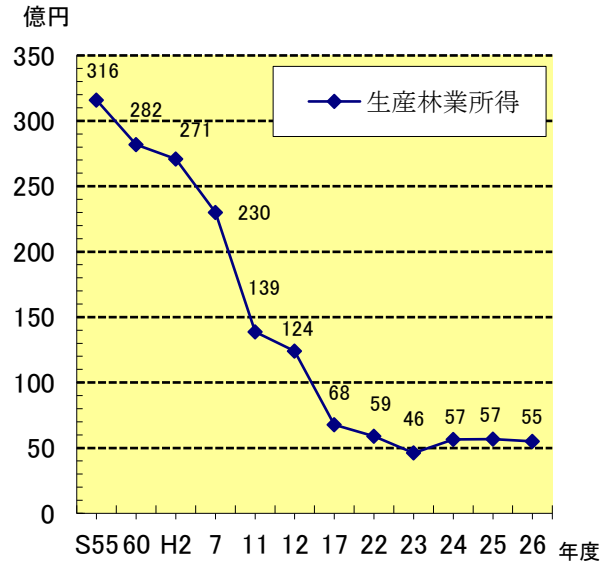
### (1) 林業経営

- 平成 26 年度の林業産出額（林業粗生産額）は 85 億円(対前年度比 103.7%)、生産林業所得は 55 億円(対前年度比 96.5%)となっています。



**林業産出額（林業粗生産額）の推移**

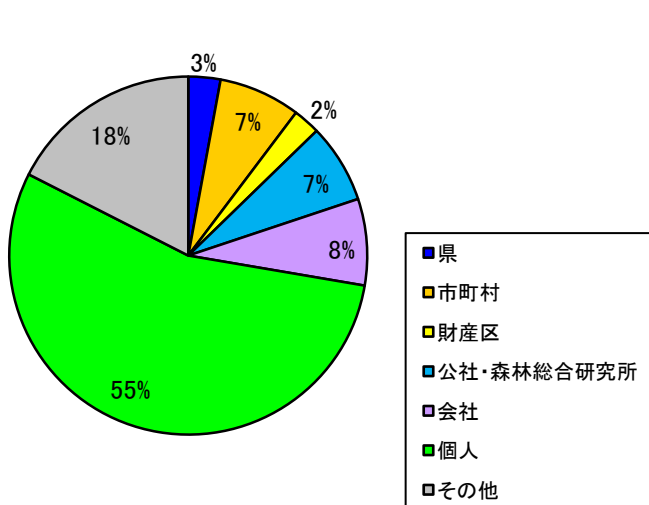
資料：農林水産省「第 62 次岐阜農林水産統計年報」  
 注：林業産出額は、木材生産、薪炭生産、栽培きのこ類生産及び林野副産物（天然まつたけ、生うるし等）採取の産出額（生産量に価格を乗じて推計）を合計したものの



**生産林業所得の推移**

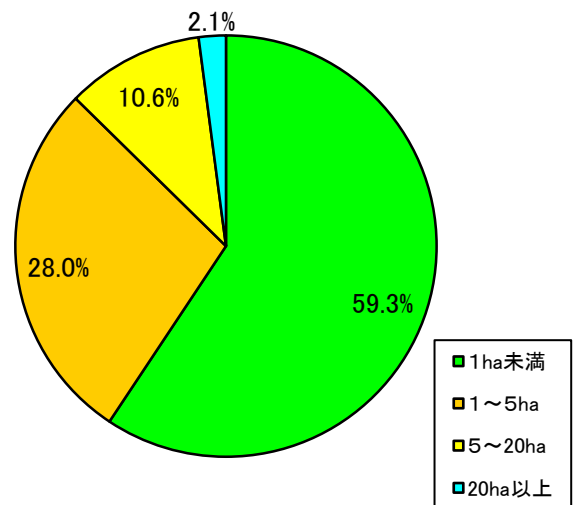
資料：農林水産省「第 62 次岐阜農林水産統計年報」  
 注：生産林業所得は、林業生産活動によって生み出された付加価値（各部門産出額に所得率を乗じて推計）

- 県下の民有林面積のうち私有林が 87.3%、公有林が 12.7%となっています。私有林の内訳は個人所有が最も多く、私有林全体の 62.8%を占めています。
- 個人所有の規模別体数をみると、所有面積 1 ha 未満が 59.3%を占め、1~5ha と合わせると全体の 87.3%が 5 ha 未満の零細な所有となっています。



**所有形態別民有林面積の割合**

資料：県林政課調べ



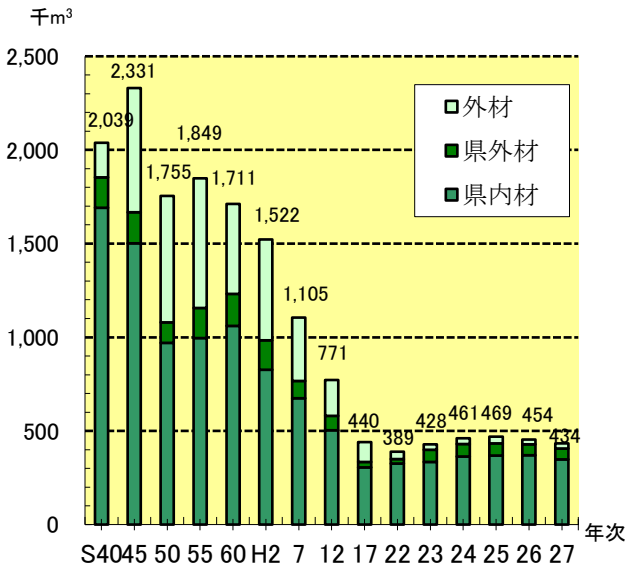
**個人所有林の所有規模別体数の割合**

資料：県林政課調べ

注：地域森林計画対象内森林のみ集計

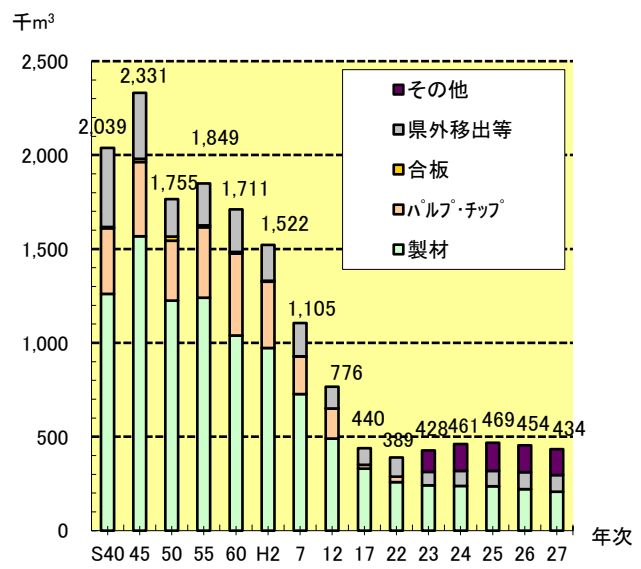
## (2) 木材生産・木材需要

- 平成 27 年の素材の需要量は 434 千 $m^3$ で、前年より 20 千 $m^3$ 減少しました。このうち県内材の供給量は 348 千 $m^3$ で全体の 80.2%を占めています。
- 平成 27 年の素材の県内需要のうち製材用の割合が 60.0%と最も高くなっています。



供給元別素材需要量の推移

資料：農林水産省「木材需給報告書」



素材需要量の推移

資料：農林水産省「木材需給報告書」

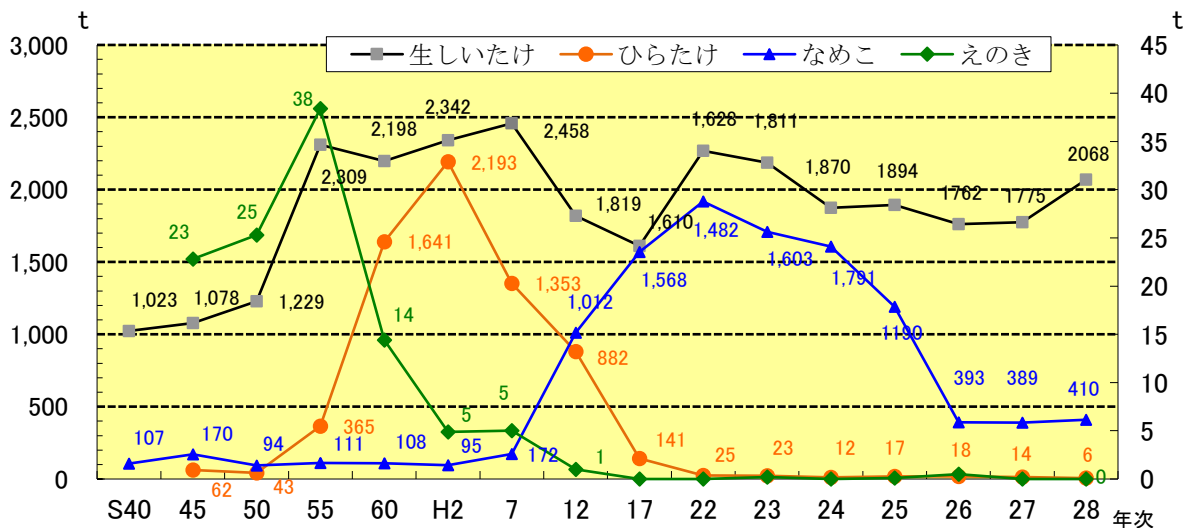
注：調査の中止により 13 年度以降の「パルプ・チップ」は「チップ」のみの数値

## (3) 特用林産物

- 平成 28 年のキノコ類の生産量は、「生しいたけ」は 2,068t に対前年比 116.5%、「なめこ」は 410t に対前年比 105.4%となっています。

(生しいたけ・ひらたけ・なめこ)

(えのき)

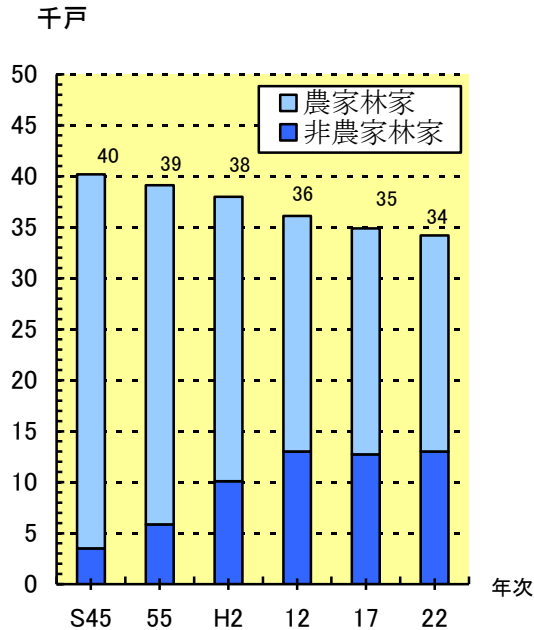


キノコ類生産量の推移

資料：県産材流通課調べ

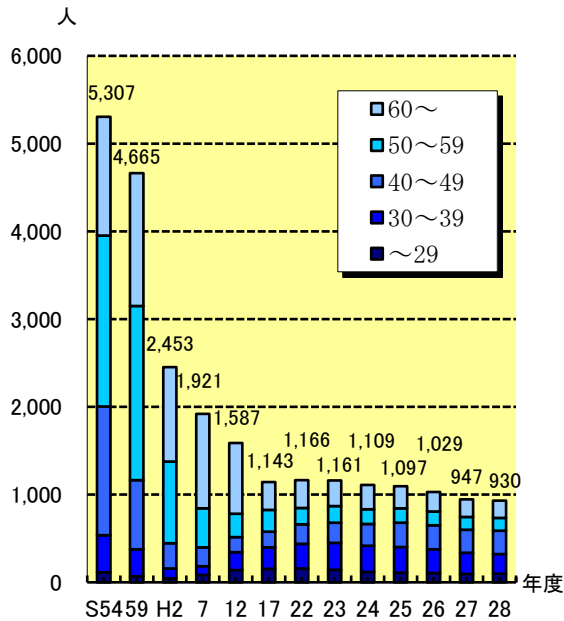
#### (4) 林業労働力・林業機械

- ・ 林家（保有山林1ha以上）戸数は減少傾向にあります。平成17年調査に比べ、平成22年の農家林家数は957戸(4%)減少、非農家林家数は276戸(2%)増加となっています。
- ・ 平成28年度の森林技術者数は930人で、前年度（対前年度比98%）に比べ減少しました。
- ・ 平成27年度の森林組合の作業班員は459人で、前年度に比べて57人減少しました。



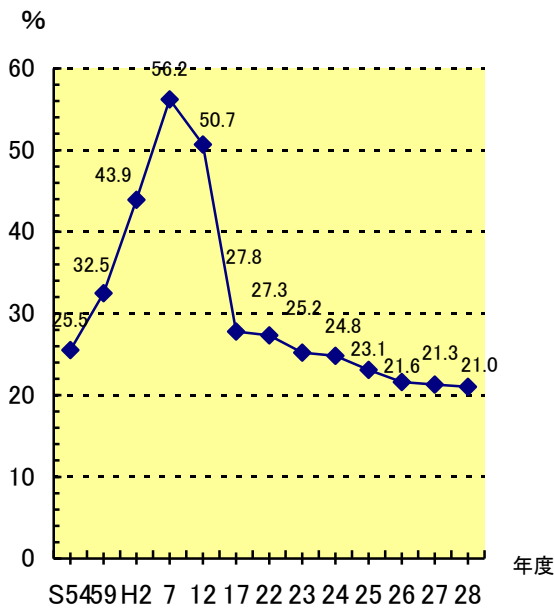
**林家戸数の推移**

資料：農林水産省東海農政局調べ



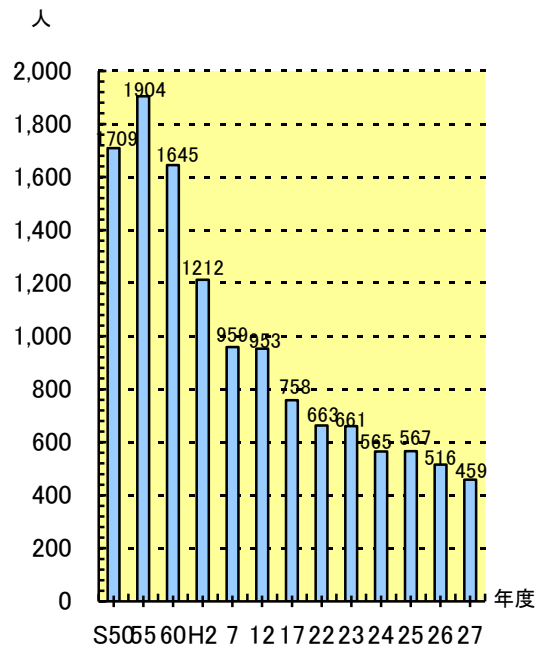
**年齢別森林技術者の推移**

資料：県森林整備課調べ



**60歳以上の森林技術者の割合の推移**

資料：県森林整備課調べ



**森林組合作業班員数の推移**

資料：県森林整備課調べ

### 3. 森林の多面的機能の評価額

森林の多面的機能の評価額…森林は私たちの生活に欠くことのできない様々な働きを持っています。  
森林が持つさまざまな機能をお金に換算し評価(試算)すると、下表のとおりです。

(単位：億円)

機能の種類	全国 評価	岐阜県 評価	全国比 (%)	説明	試算方法
二酸化炭素吸収	12,391	471	3.8	温暖化の原因である二酸化炭素を吸収する機能	木質バイオマスの増量から森林の二酸化炭素吸収量を算出し、火力発電所における科学的湿式吸着法による二酸化炭素回収コストで代替し評価
化石燃料代替	2,261	42	1.9	木材を使うことで二酸化炭素の放出を抑制する機能	現在の木造住宅がすべてRC造、鉄骨プレハブで建設された場合に増加する炭素放出量を算定し、これを火力発電所科学的湿式吸着法による二酸化炭素回収コストで代替し評価
表面浸食防止	282,565	6,739	2.4	下草や落枝落葉に覆われていることにより地表の浸食を抑制する機能	有林地と無林地における土砂の年間浸食深の差と森林面積により、森林地域全体の浸食土砂量の差を森林による浸食防止量とし、これを砂防えん堤で代替
表層崩壊防止	84,421	2,914	3.5	森林の樹木が地中に深く根を張り巡らすことにより土砂の崩壊を防ぐ機能	有林地と無林地における崩壊面積の差から森林による崩壊軽減面積を推定し、これを山腹工事費用で代替
洪水緩和	64,686	2,493	3.9	森林の土壌が、雨水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和する機能	直接流出量(洪水流量)を軽減し、豪雨時のピーク流量を低下させる森林の機能を洪水防止機能として評価することとし、森林と裸地の比較において流量調節量を算定し、これを治水ダムで代替
水資源貯留	87,407	4,110	4.7	森林の土壌はスポンジのように隙間がたくさんある構造になっており、この隙間に水を蓄える機能	森林地帯への降水量から樹冠による遮断、樹木による蒸散を差し引いて算定し、これを利水ダムで代替
水質浄化	146,361	5,665	3.9	雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される機能	「水資源貯留機能」で試算した地形要因を加味しない流域貯留量のうち、生活用水として利用されている量相当分を水道料金で代替、その他を雨水利用施設で代替
保健休養	22,546	775	3.4	樹木がフィトンチッド※に代表される揮発性物質を出すことで、人に対し直接的な健康増進効果を与える機能。また、行楽やスポーツの場を提供する機能	(社)日本観光協会「観光の実体と志向」(平成10年9月調査)をもとに、自然風景をみることを目的とした旅行費用から算定
合計	702,638	23,209	3.3	<b>県民1人あたり：約110万円</b> <b>森林1haあたり：約270万円</b>	

(※) フィトンチッドとは、植物から発散される揮発性物質。  
森林浴がすがすがしく感じるのは、フィトンチッドの効果によるものであるとされている。

<参考>	全国 (千ha)	岐阜県 (千ha)	全国比 (%)		
森林面積	25,121	866	3.4		

注：日本学術会議答申「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について」(平成13年11月1日)及び国答申に基づく岐阜県の試算による。岐阜県の試算は平成13年度データに基づく。